

大動脈緊急症（腹部大動脈瘤）

治療と予防

大動脈緊急症 とは

- 大動脈瘤破裂（腹部、胸部）
- 急性大動脈解離（破裂、臓器虚血ある症例など）
- 外傷性大動脈損傷
- 大動脈気管支瘻・腸管瘻等の他臓器への穿通など

大動脈緊急症の治療

①破裂前に手術（救命率99%）

早期診断とリスク因子の排除

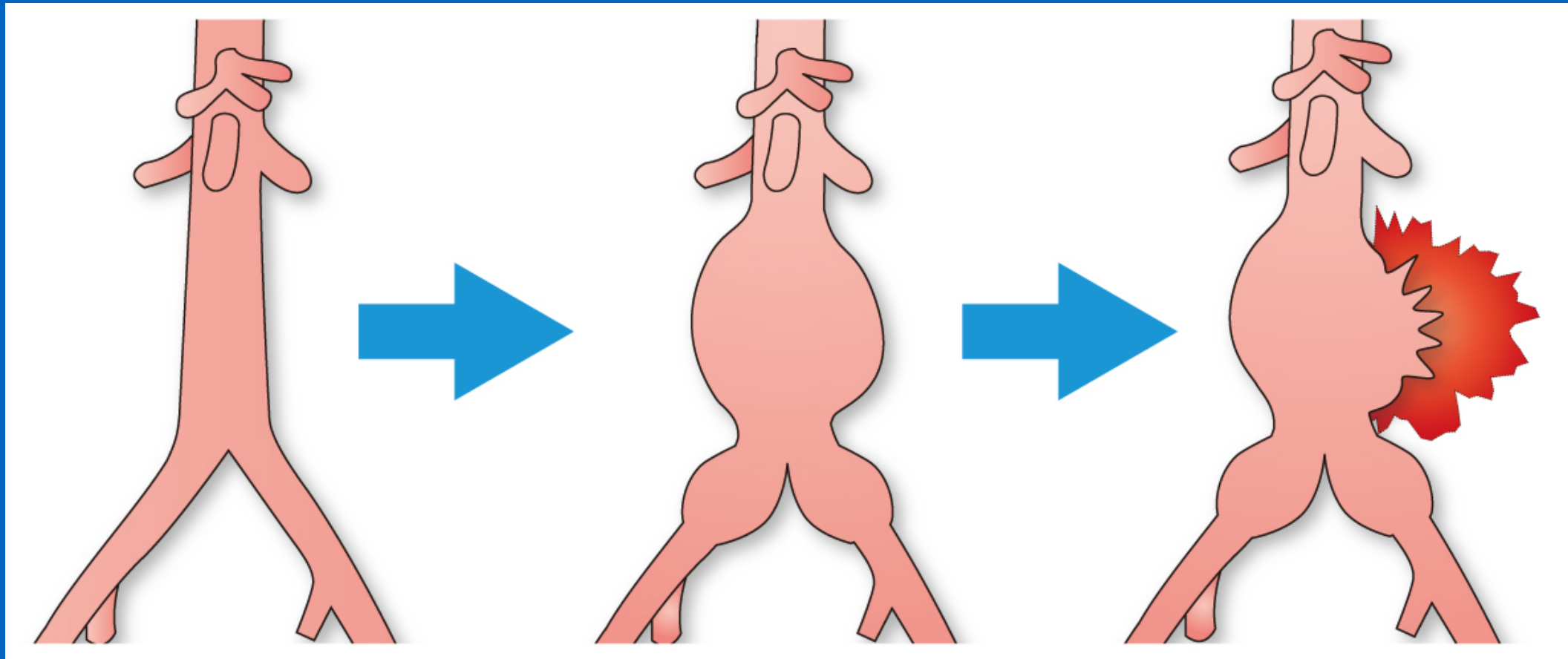
②破裂してしまった場合

病院に生きて搬送できれば

救命のために緊急手術

1時間以内に止血しないと救命困難

腹部大動脈瘤の治療方針

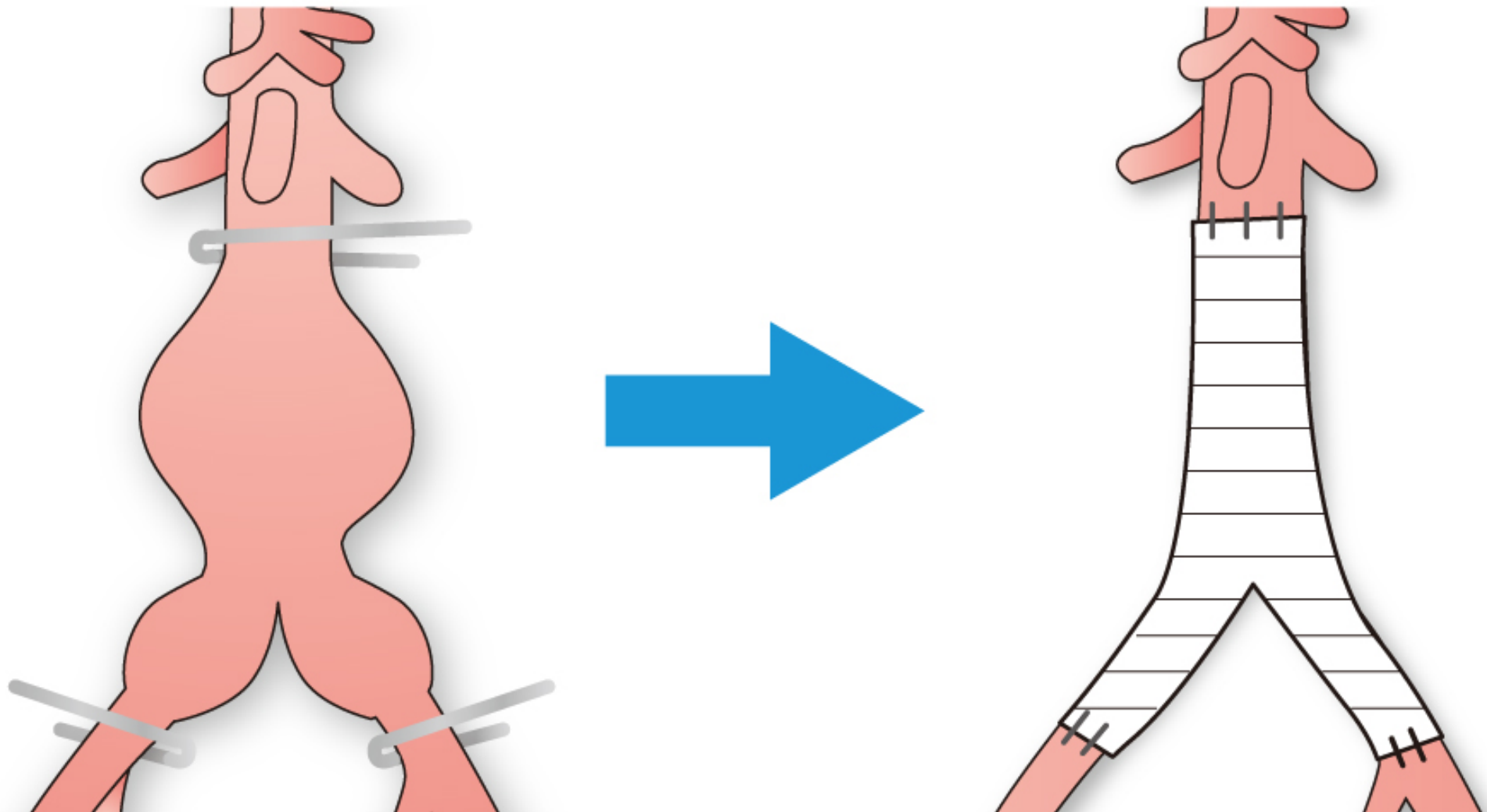


腹部の血管は2 cm程度
破裂前に自覚症状なし
5 ～ 6 cmを超えると破裂の危険

治療の原則：破裂前に手術

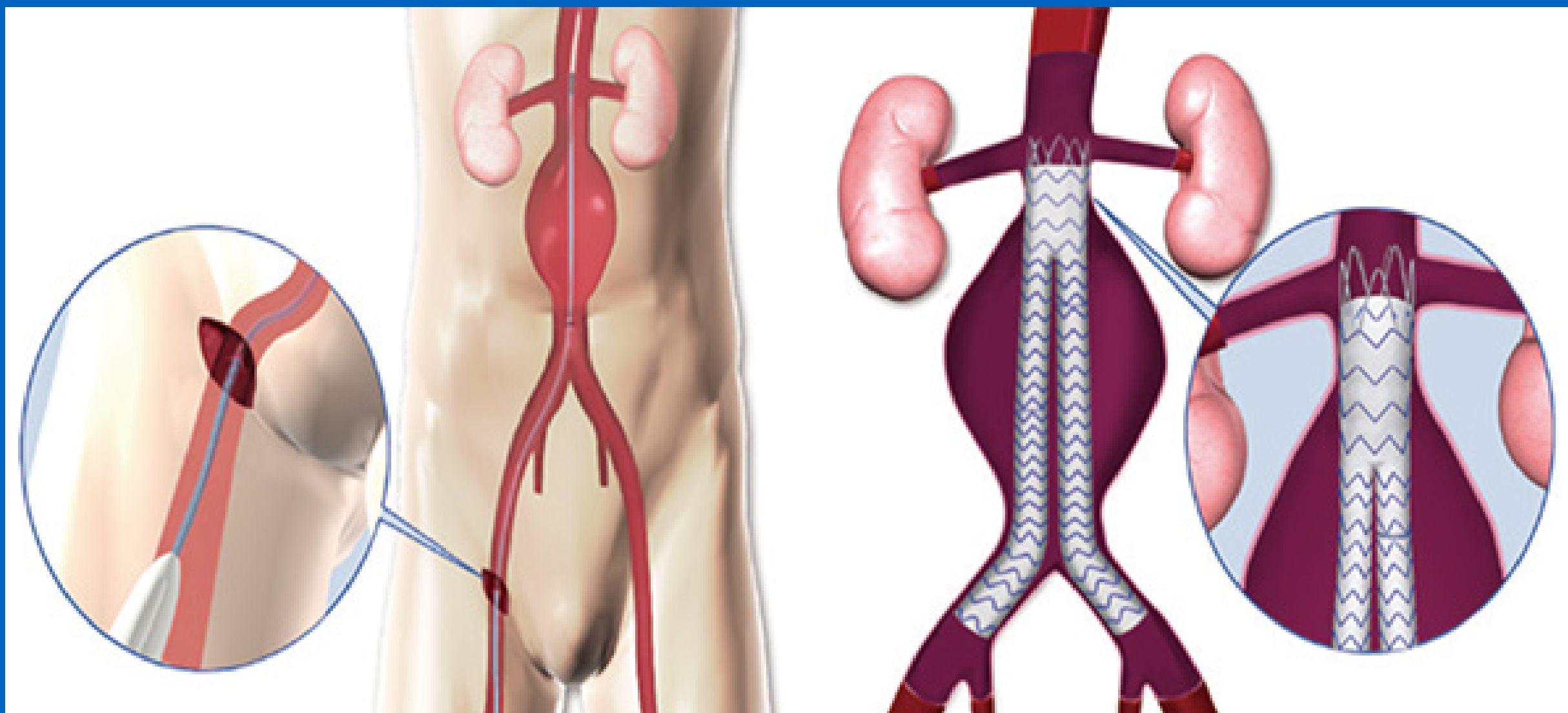
手術方法 1

★開腹手術（人工血管置換術）



手術方法 2

★開腹しない スtentグラフト手術 (カテーテル治療)



大動脈緊急症の予防

① 禁煙



紙タバコ・葉巻・
電子タバコなどの
全てのタバコ類の禁煙

② 肥満解消

糖尿病、高血圧、高脂血症の治療
肥満⇒睡眠時無呼吸
(大動脈緊急症の危険因子)



大動脈緊急症の破裂前診断

胸部大動脈瘤：胸部X線検査で縦隔腫瘤影

腹部大動脈瘤：触診で拍動性腫瘤あり



お気軽に相談下さい
⇒ 専門医による診断、治療方針決定